

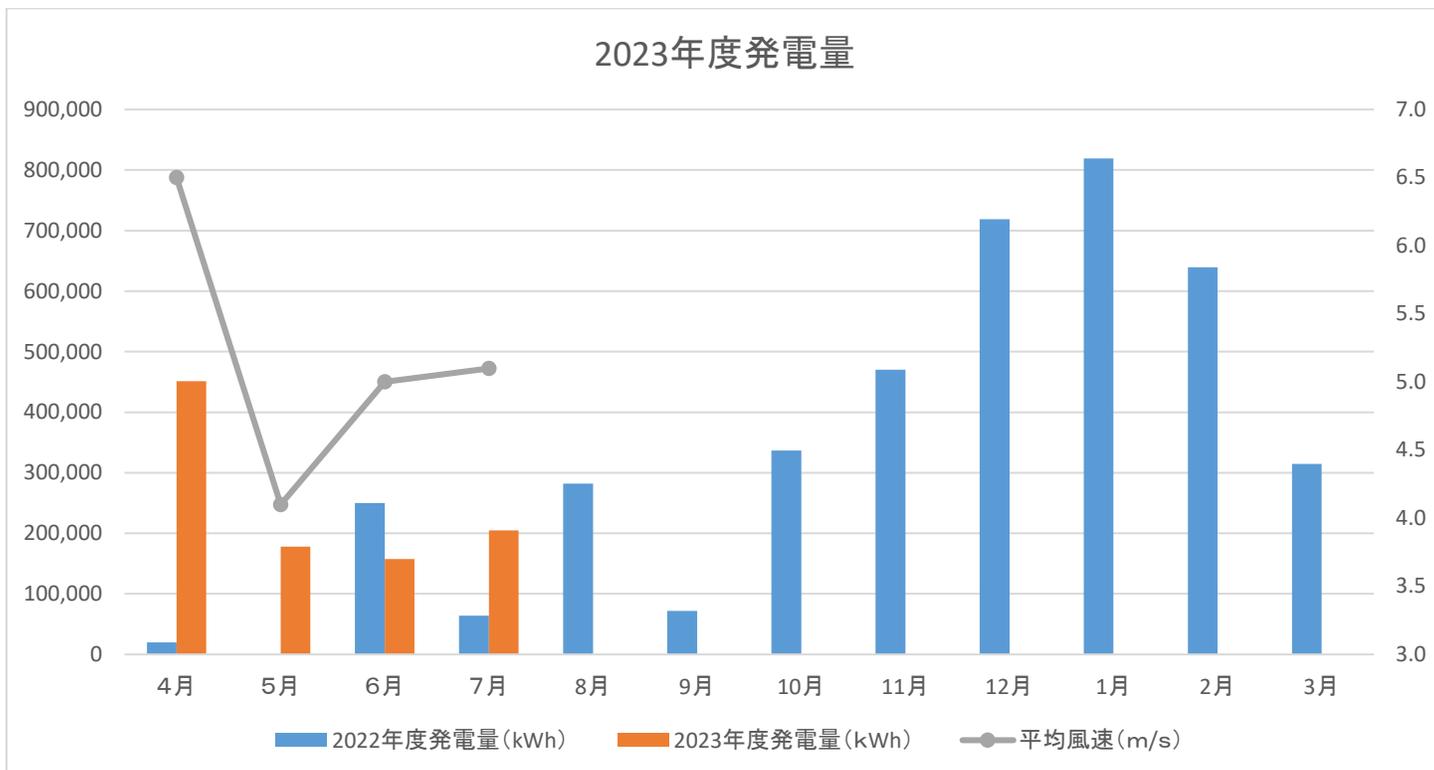
秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 3-4-14FORECAST 人形町 PLACE8 階

一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩（代表理事） 編集責任者 鈴木伸予

○ 2023 年度発電実績



6月度運転状況について

- 風況は前年同月に比べ2.0m/s高くなりました。
- 増速機高速軸アッセンブリーの交換工事を6/12～26まで実施しました。
- 6/3 東北電力の要請による解列。
6/4 は、8:00～16:00 まで国の優先給電ルールに基づく出力制御の指示を受け停止しました。

7月度運転状況について

- 風況は前年同月に比べ1.1m/s低くなりました。
- 発電機のスリップリング交換工事を7/10～14まで実施しました。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	451,057	6.5	31.5
5月	177,890	4.1	97.6
6月	157,447	5.0	56.0
7月	204,982	5.1	83.1
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

夢風ブランド開発生産者連絡会総会の開催報告

8/4に、にかほ市「にかほっと」にて第10回夢風ブランド開発生産者連絡会総会を開催しました。

三浦米太郎商店の三浦大輔代表取締役、伊藤製麺所の伊藤実代表、日南工業株式会社の久野宏代表取締役、四つ葉ネットワークの池田千鶴子さん、芹田営農組合の渡邊稔組合長、道の駅象潟ねむの丘の佐々木勝美係長、にかほ市総合政策課の高橋寿課長、佐藤周平主任、にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会より半澤彰浩共同代表の出席がありました。また、オブザーバーとして、生活クラブ東京の大石冬刀常勤理事、生活クラブ埼玉の須長雅和専務理事、生活クラブ千葉の山崎倫一常務理事、生活クラブ神奈川の竹内剛史常勤理事の参加がありました。

第1号議案2022年度事業活動報告では、3年ぶりにデポーにかほフェアへの生産者来所開催やにかほ市での交流企画への対応などの報告が提案されました。また、にかほ市の高橋課長より会計監査報告を受けました。

第2号議案2023年度事業活動方針では、夢風ブランド品とにかほの物産の共同購入の取り組み計画や首都圏4単協の交流企画の計画、にかほ市産の大豆の取り組み、会員拡大などについて提案されました。また、道の駅象潟ねむの丘の手数料の見直しの検討が提案されました。

1、2号議案とも満場一致で承認され、総会は終了しました。

組合員リーダーツアー開催報告

7/22,23生活クラブ組合員リーダーツアーを秋田県にかほ市と山形県遊佐町で実施しました。組合員リーダーに加え、研修として参加の㈱生活クラブエナジーの業務をしているワーカーズコレクティブのメンバー、職員を含め34名が参加しました。

数日前の大雨で秋田市内では洪水が発生し、開催が心配されましたが、組合員リーダーツアー当日は梅雨明けの好天となりました。組合員リーダーツアーの様子を紹介します。

<1日目>

○生活クラブ風車夢風の見学

まずは、生活クラブ風車夢風の見学を行いました。

風車の保守管理を委託している㈱市民風力発電の渡邊さんより風車の概要説明とタワー内の見学、高橋さんより高圧受変電設備の見学を行いました。

今年はジャンケンで勝った多摩南生活クラブの笠原真優美理事が、組合員を代表して、地上80mのナセルに登頂しました。右の写真は、ナセルの上からの写真を笠原理事に頂いたものです。

組合員からは、「夢風の立地が、海と山に囲まれた自然豊かな場所であることを見学できて、いまさらながら再生可能エネルギーとは、自然の資源を最大限活用した、自給可能なエネルギーであることを実感できた」「保守点検に細かな人の手がかかることで、維持管理されている事を改めて感じました」の感想がありました。





後列左:市民風力発電 渡邊さん、後列右から2人目:高橋さん

○生活クラブ風車夢風の建設地の地主である芹田自治会とのバーベキュー交流会

芹田自治会館前の広場で、芹田自治会の皆さんや夢風ブランド生産者、にかほ市長をはじめとするにかほ市役所の職員の方、市民風力発電の鈴木亨代表取締役、原田美菜子マネージャーと一緒に、総勢70人でバーベキュー交流会を行いました。

はじめに、芹田自治会長の渡邊京一さんにご挨拶をいただき、つづいて、生活クラブ神奈川の半澤彰浩専務理事、にかほ市の市川雄次市長よりご挨拶を頂きました。三浦米太郎商店の三浦悦朗会長より乾杯のご挨拶を頂きました。

岩ガキ、由利牛と芹田の方が用意してくれた漬物に舌鼓を打ちながら、地元の方とのおしゃべりに花が咲きました。

最後は、生活クラブ組合員が、松田聖子さんの碧いサンゴ礁の替え歌で風車「夢風」の歌を披露しました。



芹田自治会館前で、替え歌を披露する生活クラブ組合員

組合員からは「芹田地区の人たちが本当に歓待してくださり、うれしく思いました。建設を決めた時の自治会会長さんが、その決断をして良かったとおっしゃってくれたことが何より嬉しかったです。」「芹田自治会の方々が組合員との交流を喜んでくれているのが実感できた。このつながりは自慢できると思いました。」「にかほの住民の方々と直接話したことで、住んでいる人々の風力発電や生活クラブに対する考えとか感じている事などを聞くことができ、感謝の気持ちがさらに強くなった。」「一番心に残るのは「にかほ」の交流会です。初めて会ったばかりの方々といっぱいお話をさせて頂きました。おいしい漬物や焼き肉、カキ等をいっぱいごちそうして頂きありがたいなと思います。」などの感想がありました。

<2日目>

2024年11月に稼働予定のにかほ院内発電所の建設予定地を見学しました。環境アセス調査を実施し、鳥類や騒音の影響調査を実施し問題が無いことを確認しています。組合員からは、「夢風よりも大きな風車になること、風況が良いことを確認できました。院内の方たちとも是非交流していきたいです。」との感想がありました。

つづいて、夢風ブランド品のタラーメンを製造している伊藤製麺所の工場見学を行いました。伊藤実代表より、タラーメンの製造工程を丁寧に説明いただき、生活クラブの組合員との交流でお互いの信頼関係が生まれたことなど伊藤さん自身の変化についてお話を伺いました。

組合員からは「おひとりで作られていると聞いてすごく大変と思いました。タラーメンの開発で組合員とのやり取りがとても楽しかったと話してくださったのが、印象的でした。私たちの要望に真摯にこたえ作り上げてくれたこと、そして作り続けてくださることに感謝です。」との感想がありました。

午後からは、山形県遊佐町での見学を行いました。



前列、左から2人目:伊藤実さん

無農薬田と除草機



中山間地の畔の草刈り機



遊佐町共同開発米部会の池田恒紀事務局長の案内で、無農薬田を見学し、生産者の苦労を実感しました。庄内・遊佐太陽光発電所の売電益による「庄内・遊佐太陽光発電基金」を活用した、草刈り機やアイガモロボットを見学しました。

最後に「庄内・遊佐太陽光発電所」を㈱CSSの菅原善悦さんに案内していただきました。18MWで年間約5,700世帯分の電気を発電します。「庄内エリアFEC自給ネットワーク」づくりと連動し、酒田市と遊佐町の賛同を得て「庄内・遊佐太陽光発電基金」を創設し、発電所から毎年約1千万円程度を基金に拠出しています。

組合員からは、「草刈りや修繕など、日々のメンテナンスなどが欠かせないこと、このメガソーラーが生み出す利益が遊佐の田んぼや地域活動に貢献できているつながりも実感できました。」「庄内の米作りからのつながりもあり、メガソーラー建設をするうえで地権者との話し合いがスムーズだったと聞き、人と人の縁やつながりの大切さを改めてすばらしいと感じた。」「景観の所は少し心配していましたが、あまり気にしていなかった原野で反対もなかったと聞き安心しました。基金で、草刈りの機械をかうなど、うまく循環して、つながっていることがよくわかりました。」などの感想がありました。



左から5人目:菅原善悦さん